



図書館友の会だより

第90号

令和8年8月1日

益子図書館友の会発行

私達は図書館建設をめざしています

益子図書館友の会 代表	日渡君枝	72-5745
益子町中央公民館図書室		72-3101



つれづれに思うこと

司書さんのご努力によって、図書館らしい雰囲気になってきた中央公民館の中の図書室に足を運ぶのは楽しい。

何かしなければならなかったことがたまってくると、なぜか本を読みたくなる。私にとって読書は一種の逃避かもしれない。だから私が借りるのは、小説や図鑑類が多いのだとしみじみと思う。

いつであったか、スクールガードとして交差点に立っている時、青空の広がる朝の西空に、今にも溶けてなくなりそうな白い月が出ているのに気づいた。私は思わず高校生の時に読んだ『山月記』という小説の中の一節を思い出した。人間性を失っていく主人公が消えそうな月を見ながらつぶやいた、「理由もわからずに押しつけられたものをおとなしく受け取って、理由もわからずに生きてゆくのが、我々生き物のさだめだ。」という一節だ。確かに生きている中で、自分ではどうしようもないことが多々起きる。それでもどこかで、無意識ながら諦めたり折り合いをつけたりして、私は生きてきたような気がするし、これからも生きていく。それが私、だから。

さて、数日前に図書室に行ったら、新着本コーナーに『奇跡のプロジェクト 図書館が街を変えた!』という本があった。私は、以前はこのような類いの本をよく読んでいたが、ある時期から全く手に取ることもなくなっていた。だが、この日は何となく手に取って、パラパラとページをめくってみる気になった。以前のようなワクワク感は起きなかったが、読んでみようという気持ちになった。私は変わったのかもしれない。

(R8.6.13 会員 日渡君枝)

古本市 バザー 販売品 募集中

私達、益子図書館友の会の恒例行事となっている古本市・バザーを、11月14日に予定されている町民まつりで開催します。

益金は図書室に寄付をする雑誌購入費用にあてます。販売品をどうぞご寄付ください。詳しいことは裏面に記載しましたので、どうぞご覧ください。

～裏面もごらんください～



～古本市・バザー開催にご協力ください～

◎開催日 11月14日(土)

場 所 町民センターグラウンド 町民まつり会場

◎益金の使途

中央公民館図書室に雑誌等を寄付するための資金にします。

◎寄付していただきたいもの

○読まなくなった本・絵本・単行本・文庫本等

○使わないでしまっている日用品等

タオル・洗剤・食器・なべ・花びん・シーツ・益子焼・着なくなった

和服・バッグ・その他販売できるもの

※箱に入っていないものでも大丈夫です。

◎連絡・問合せ先 電話72-5745(日渡)

留守番電話になっている時には、お名前とご用件を入れてください。後ほどこちらからご連絡します。

古本市には、お子さま連れの方も多くきます。
けれども、お子さま向けの本の寄付が、最近は少なくなっており、残念そうに帰っていく姿をよく見かけます。

お子さま向けの本も寄付していただけると、大いに助かります。よろしくお願いいたします。



～今回の紹介本～

『わたしの骨はどこへいく?』

著 者 安田依央

発行所 集英社

自分のお墓はどうするか? 本来深刻な問題であるはずの内容が、わかりやすく淡々と書き進められていく。私はつい著者の思いに乗せられて、少し考えてみようかな?という気になった。

図書室カレンダー 7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

1 の日は午後5時まで開館

1 の日は休館

1 の日は午後7時まで開館

○ の日は益子町子ども読書の日・読み聞かせの日(ましココハウス)

～裏側もごらんください～